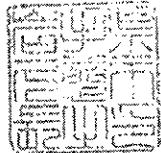


土木第186号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長
金井道夫様

久慈市長 山内 隆文



今後の道路行政についての意見・提案の提出について
秋涼の候、貴職におかれましては、ますますご清栄のことと存じます。
日頃から当市の道路行政を始め市政全般に亘りご指導、ご協力を賜り厚く御
礼申し上げます。
さて、標記について、別紙により送付いたしますので今後の道路行政にお取
り入れくださるようお願ひいたします。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式 ①

岩手県久慈市

環境保全や食料供給など国家の基盤を支える、地方の活性化のため必要な道路整備を計画的に進めることは、引き続き、重要な課題であり、道路整備に対するニーズを踏まえ、走行時間短縮、走行経費減少、交通事故減少の便益のはか、「生活機会や交流人口の拡大」「地域社会の自立と定住」「物流、流通の利便の向上」「生活環境の保全、改善」「緊急輸送路の代替路の形成など地域の安全性の向上」なども本来の道路整備効果とし、建設費等は、気象条件や地形が厳しい地域にあっては、地方の国土形成の貢献度等を踏まえ、一定の補正を考慮の上、地方にとって必要な道路を精査し、真に必要な道路整備を計画的に進めることが大変重要である。

また、地域間格差への対応や生活重視の視点を踏まえつつ、地方の活性化や市町村合併など自立に必要な高速交通ネットワークの整備や渋滞解消のためのバイパス整備、高度救急医療施設、教育施設への広域的アクセスの強化、冬期間の交通の円滑化のための堆雪帯の設置など、地域の自主性を考慮した道路整備が必要である。

特に、三陸沿岸地域は、高速交通体系の整備が遅れ、産業の活性化や企業の誘致が進まず、内陸部との所得格差の拡大や人口減少が切実な問題となっている。地域の活性化と住民の地方定住を促進するためには、八戸・久慈自動車道や三陸北縦貫道路、国道281号などの高規格道路の整備は不可欠な条件である。

これら道路の整備促進は、時間距離の短縮、人・物の交流、観光資源や水産資源などの活用、港湾機能の向上など企業の誘致促進と地域産業の活性化に大きく寄与する。

今後30年間に99%の確立で、宮城県沖を震源とする地震が発生するといわれており、地域住民の安全と安心を確保し、災害時の緊急輸送路や避難路となる高規格道路の早期整備が喫緊の課題となっている。また、積雪期における東北内陸部の高速交通幹線の代替路線、そして、国県の医療、福祉、教育などの地方事務所の整理統合によるアクセス距離の増大に対応する高規格道路の役割も担うものである。

以上のことに加え、太平洋沿岸の八戸・久慈自動車道、三陸北縦貫道路、三陸縦貫自動車道などは、国土の骨格となる高規格道路のネットワークであることから国家戦略として、国の責任において優先的に整備すべきである。

道路特定財源制度は、半世紀にわたって道路政策を構築してきたところであり、受益者負担の観点からすれば一般財源化について理解することができないところであるが、一般財源化されたとしても、道路整備の必要性は今後においても、変わるものでなく、必要な道路整備が滞ることのないよう安定的な財源を確実に確保すべきである。

また、地方道路整備臨時交付金、地方道路整備臨時貸付金の両制度は、市町村道の整備に有効な制度であることから、同制度の継続拡充が必要である。

今後の道路行政についての意見・提案

②－1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

岩手県久慈市

○現状

[人口]

本市の総人口は、39,141人(平成17年10月1日国勢調査)であるが、出生率の低下や若年層の流出などにより減少、就業人口も総人口の減等により減少化の傾向をたどるものと予測されている。

[所得等]

市内純生産は、長引く景気の低迷等からこれまで減少し続けているが、当面は横這いで推移するものと見込まれている。

市民1人当たりの分配所得は、依然として県央部との所得格差があり、今後も県平均の88%で推移すると見込まれている。

[産業等]

第1次産業の農業所得も減少傾向にあるが、基幹作目である雨よけホウレン草に加え、短角牛をはじめとする畜産品の知名度も高まりつつある。

林業の木炭は、県内一の生産量を誇っており、「しいたけ」は市場から高い評価を受けているが、当地域は高規格道路が整備されていないことから、水産業は、三陸の好漁場を有しているにもかかわらず、消費地への時間距離があり有利な販売が出来ないことから、水揚げ量は減少傾向にある。

商工業等については、中心市街地の活性化のため核施設を整備するなど積極的に取り組んでいるが、再生はまだ不十分である。特に、有効求人倍率が県内で最も低く、優良で豊富な資源、人材及び技術等が十分活かしきれていない状況にある。

また、観光は、東北新幹線八戸駅開業を契機に、北三陸地域への観光客数が増加しているが、本市の入込み数は、教育旅行など交流人口の拡大に積極的に取り組んでいるものの伸び悩みの状況にある。

○課題

[定住人口の増加対策]

- ・ 交通、情報基盤の整備
- ・ 交流人口の拡大
- ・ 多様な就業機会の確保
- ・ 子育て支援

[産業振興(地域間格差の解消)]

- ・ 第1次産業の振興
- ・ 企業誘致
- ・ 内発型産業の振興
- ・ 観光産業の振興
- ・ 道路、港湾など産業基盤の整備促進

特に、地域内・外の交流など定住人口の増加や企業誘致など、あらゆる産業、経済活動を支える道路整備は、当地域の最重要課題となっている。

人口は、行財政運営に大きな影響を及ぼす重要な指標であり、交通、情報基盤の整備と他地域との連携交流を強化し、地域経済の活性化に繋がる交流人口の拡大を推進するほか、多様な就業機会の確保、子育て支援を図る各種施策を充実するなど、各分野での定住人口の増加対策と人口減少速度の抑制に努め、将来的には、国が示す自治体規模の基準である5万人を目標としている。

産業振興は、これまで取り組んできた第一次産業の振興に努め、企業誘致等産業振興施策の一層の充実を図るとともに、更なる市民所得の向上に繋がる、内発型産業の振興、総合産業としての観光振興及び道路、港湾など産業基盤の整備促進などに努め、県平均に準じた市民所得を目標としている。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

岩手県久慈市

○重点事項 ・産業振興(地域間格差の解消)	○代表事例 ・八戸・久慈自動車道の整備促進 ・三陸北縦貫道路の整備促進	○期待する効果や評価等 <ul style="list-style-type: none">八戸市、二戸市、久慈市の三圏域で防災、観光など連携事業に取り組んでおり、今後、交流人口、観光客の拡大により地域の活性化が期待される。国道45号宇津目坂の再々の路面沈下等による交通障害が解消され、東北新幹線八戸駅や重要港湾八戸港、久慈港など主要拠点へのアクセス強化により企業誘致が促進され産業の活性化が期待される。部品工場と組み立て工場のアクセス強化により産業振興が期待されている。産地と消費地の時間距離の短縮により水産物等の鮮度維持が可能となり、有利に販売出来ることから水産業等の振興が期待されている。県立久慈病院(三次救急医療施設)へのアクセス強化による沿線住民の安全、安心が確保される。また、産婦人科医の不足に伴う遠距離通院が安全になるよう早急な道路整備が求められている。高等学校等への時間距離が遠いことから通学が出来ず子供と親の二重生活を強いられているが、この解消が期待されている。南側の三陸縦貫自動車道と北側の八戸・久慈自動車道との連結により、各重要港	○その他 八戸・久慈自動車道、三陸北縦貫道路、国道281号は、宮城県沖地震などの災害時の緊急輸送道路・避難路や東北内陸部の代替道路、国土の骨格となる太平洋沿岸の幹線道路の役割を担うものである。
--------------------------	---	---	---

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

岩手県久慈市

○重点事項 ・産業振興(地域間格差の解消)	○代表事例 ・国道 281 号平庭トンネルの早期整備 ・国道 45 号(通称野田峠)の登坂車線・歩道の整備 ・県道整備(主要地方道久慈岩泉線、野田山形線一般県道野田長内線) ・市道整備(市道久慈夏井線)	○期待する効果や評価等 湾、地方港湾等へのアクセスが強化され、三陸沿岸の人的、物的交流が促進され、八戸・久慈自動車道と同様に産業経済の活性化が期待される。 ・本路線は、県北沿岸地域と県央県都を結ぶ唯一の幹線道路で、沿線約 45 万人の交流・流通の大動脈であるが、現道は急カーブ急勾配で、特に平庭峠は、交通の難所となっており、この峠のトンネル化により県北沿岸地域の産業経済の活性化と県立久慈病院(三次救急医療施設)への「命のみち」として期待されている。 ・本路線は、三陸沿岸地域を縦貫する唯一の幹線道路であるが、通称野田峠は、急勾配で交通の難所となっており、登坂車線、歩道の設置により交通の円滑化が図られ、地域の産業経済の活性化が期待される。 ・市町村合併に伴い新たな交通需要が発生するなど、地域の自立には県道整備は不可欠である。 ・県立久慈病院(三次救急医療施設)、学校再編による久慈東高等学校、中心市街地の核施設「土風館」への近隣町村のアクセス強化により、市街地などの活性化が期待される。	○その他
--------------------------	---	--	------

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

岩手県久慈市

<p>○重点事項 ・産業振興(地域間格差の解消)</p>	<p>○代表事例 ・身近な道路整備</p>	<p>○期待する効果や評価等 ・ 既存の橋梁・トンネルへの歩道設置や歩道のバリアフリー化、地域内交流を促進する市街地と中山間の連絡道の整備、冬季は堆雪帯として、夏季は「ゆずりあい」車線、景勝地等の駐車帯、自転車道・歩道などに利活用できる「ゆとりある」路側帯の整備により、交流の活発化や定住人口の増加が期待される。</p>	<p>○その他</p>
----------------------------------	---------------------------	--	-------------